

## 平成30年度 第8回西区自治協議会会議録

日時：平成30年11月29日（木）午後 3:00～

会場：新潟国際情報大学本校 管理研究棟 2階大会議室

### < 1 開会 >

(岩協会長)

本日は、自治協議会の認知度向上のため新潟国際情報大学で出張開催をさせていただきました。

たくさんの学生さんから傍聴に来ていただきまして、誠にありがとうございます。

まず議題に入る前に、せっかくの出張開催なので、自治協議会委員の「佐潟と歩む赤塚の会」の中原委員から佐潟について、お話をいただきたいと思います。

### < 中原委員説明 >

### < 2 議事（1）部会の状況報告（通常部会・特別部会・推薦会議） >

(岩協会長)

それでは通常の議事に入りたいと思います。部会等の状況報告でございます。第1部会の状況報告をお願いいたします。今回の部会では、来年度の自治協提案事業について審議いただいておりますので、その内容を中心に各部会長より簡潔に報告していただきたいと思っております。第1部会の部会長、大谷部会長からお願いいたします。

(大谷委員)

それでは第1部会の会議概要をご報告いたします。所管分野は防犯、防災、自然環境、住環境等であります。11月15日、木曜日、午後3時から、第8回の会議を行いました。出席者は会議概要記載のとおりであります。議事については、今ほどお話のありました平成31年度自治協議会提案事業について協議をしました。区自治協議会と区が協働で取り組む課題や解決方法について検討を行いました。協議の結果、第1部会では、「空き家にならないための取り組み」をテーマに課題解決につながる提案を公募し、ノウハウを持った団体と協働して取り組むことにいたしました。なお、より幅広い提案をいただけるよう、事業費を今年度の25万円から50万円に増額して、他の提案事業と調整して決定することになりました。さらに実施にあたっては、他の部会との調整を図り、スケジュールや募集要項案の作成を進めることにいたしました。

委員から出された意見は、囲み部分に記載してございますので、ご覧いただきたいと思っております。なお、出された意見は、既に空き家になっていることに対する課題と、それから今後において空き家にならないための啓発活動をどうするべきかという2つの側面からと

らえての意見であったと承知をいたしております。

今回は 12 月 7 日、金曜日、午後 3 時から、平成 30 年度の自治協議会提案事業の評価などについて協議をいたします。以上、第 1 部会の報告を終わります。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの報告及び提案事業の内容について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。今全国的に問題になっております空き家の問題でございます。皆さん方から、いろいろなご意見が出されているという報告でございます。何か質問等がございませんでしょうか。なければ第 2 部会の部会長、お願いいたします。

(郷部会長)

第 2 部会です。第 2 部会は所管分野が保健福祉、文化、教育等です。第 8 回の会議の開催日時、会場、出席者は書かれているとおりでございます。では主な議事から説明させていただきます。主な議事は、平成 31 年度、自治協提案事業についてです。区自治協議会と区が協働で取り組む課題や、その解決手法について検討を行いました。2 部会からは地域の担い手育成、それから、支え合いのしくみづくりの取り組みの輪を広げるということをテーマに、課題解決につながる提案を公募し、ノウハウを持った団体と協働して取り組むこととしました。

支え合いのしくみづくりについては、社協さんを中心に、各自治会長さん等を対象に周知を一生懸命していらっしゃいますが、それと同時にやはり地域でさらに支え合いの輪を広げていかなければ、このしくみが成り立たないということで、周知というよりは取り組みの輪を広げるということに重点を置いたテーマでの公募ということを、みんなで確認しました。

先ほど 1 部会の部会長からもありましたように、今年度の公募事業では、1 事業当たり 25 万円とした上限を 50 万円に増額する方向で、他提案事業との調整を図っていくということとしました。またこの提案に対して、地域課題を身近に感じ、実際に取り組んでいる立場や、専門的な視野で助言をすることで、提案の内容を一段と良い事業にし、取り組んでいくことにいたしました。

委員から出された主な意見は、そこに書かれているとおりです。公募で提案があった事業に対しては、いろいろな団体のノウハウをたくさんいただいて、私たちが今まで解決しようと思ったテーマの事業を実施していましたが、さらに私たちが気が付かなかったような専門的な良い事業がたくさん公募されるといいなということを意見交換しましたし、私たちが委員として一緒にやっていくことで、より一層良い事業になるように取り組んでいきたいという意見が出されておりました。

2 番、その他です。来年度、地区の民生委員の改選時ということで、今年度、今後民生委員の制度や実態を理解する機会を設けて、委員の中で其の共有を図っていくということを提案し、決定いたしました。次回の開催日程は平成 30 年 12 月 10 日の 1 時半から、西

区役所において、議題は平成 30 年度の自治協提案事業の評価についてということです。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの報告及び提案事業の内容について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。私どもがこれから区民として、また市民として、自分たち自らが考えて、自ら行動を起こすような体制に持っていけないといけない。それが支え合いのしくみづくりの一つの基本だと思っております。

(郷部会長)

すみません。2 部会から追加で発言させてもらっていいですか。

(岩協会長)

どうぞ。

(郷部会長)

以上ですと言ったのですが、ちょっと追加発言で、今年度の自治協提案事業の大きなものがもう 2 つ残ってしまっていて、「スポーツ鬼ごっこ西区 C u p 2018」、そして「西区カーリンコン大会」この 2 つが今年度の自治協提案事業なのですが、スポーツ鬼ごっこは、来月 12 月 16 日、1 時より受付をして、みどり森の運動公園の屋内コートで、そして西区のカーリンコン大会は結構押し迫っているのですが、12 月 26 日、水曜日、1 時から 4 時半まで、西総合スポーツセンターで開催しますので、ぜひ委員の皆さまもお時間がありましたら、様子を見に、またまだ募集していますので、もしチームを組んで出たいという方がありましたら、ぜひご参加ください。よろしくお願ひします。

(岩協会長)

今追加の報告がございました。カーリンコンについては、田中委員が積極的に普及活動をやっています。各自治会の集会所等を回って普及をやっている。誰でも気軽にできるということで、好評を得ていると聞いております。ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等がございませんでしょうか。坂井委員、お願いいたします。

(坂井委員)

直接今の部会のことではないのですが、支え合いのしくみづくりに関わる問題で、前に区長さんをお願いしていたのですが、総合事業に移転して、今年の 3 月末までに、要支援、要介護の立場はどうなったのですか。調べてくださいというのをお願いしてしまっていて、この間やっと何うことができました。結果、要支援は 1 の人が 5,649 人で前年 4 月 1 日よりマイナス 304 人。要介護 1 から要介護 5 の方が 3 万 1,129 人でプラス 827 人ということで、

全体では総合事業の人数は少なくなったけれども、要介護がいっぱいになって、これをどう見るかというのはいろいろありますが、介護保険外しをやられていることはなかったということが分かりまして、これからこういう方たちをどうして支えるか、お互いに知恵を出していければと思っております。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。他に何かご質問等がございませんでしょうか。なければ第3部会の部会長、お願いいたします。

(塩川委員)

第3部会の会議概要を申し上げます。所管分野は農林水産業、商工業、交通等でございます。今年度第8回の会議でございます。開催日時、会場、出席者等は記載のとおりでございます。主な議事といたしまして、平成31年度自治協提案事業についてです。区自治協議会と区が協働で取り組む課題やその解決手法について検討を行い、第3部会の所管分野からは、区の魅力の発信・賑わい創出をテーマに、課題解決につながる提案を公募し、ノウハウを持った団体と協働して取り組むことといたしました。第3部会で取り組んできた特産物PR、商店街活性化等については、募集要項で提案の例示として記載するなどにより、補足することといたしました。より幅広い提案をいただけるように、今年度の公募事業では、1事業当たり、第1部会、第2部会も申し上げましたが、25万円から50万円に増額することが決定いたしました。他事業と調整のうえ、決定することといたしました。西区自治協議会一体となって取り組むことから、実施にあたっては、他部会と調整を図り、スケジュールや募集要項案の作成を進めることといたしました。委員から出された意見は囲みのとおりでございます。

次の開催日程は、平成30年12月10日、月曜日、午前10時からでございます。西区役所4階でございます。議題は、平成30年度自治協議会提案事業の評価について、ほかでございます。以上でございます。

(岩協会長)

ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等がございませんでしょうか。なければ、続いて、プロジェクトチームの報告に移ります。プロジェクトチーム1の広報紙発行について、自治協運営に含まれるもので、提案事業はありません。それをお願いいたします。鍋谷部会長、報告をお願いいたします。

(鍋谷委員)

プロジェクトチーム1です。第8回の部会についてご報告いたします。開催日時、会場、出席者はそこに記載のとおりでございます。主な議事。第28号の広報紙、私どもは自治協議会の広報紙の編集発行をしておりますが、その28号の作成状況について、確認し合いま

した。これは1月1日発行予定でございます。原稿担当分担につきましては、前の会で報告してありますので省略いたしますが、担当者の原稿は作成済みでございます。本日校正原稿が届きましたので、今後それに基づいて、校正の作業をし、1月1日発行となります。

その内容の主なものはそこに書いてありますが、1面につきましては、30年度の公募事業は皆さんご存知のように3つあったわけですが、スポーツ関係の2つにつきましては、先ほど郷委員がお話されましたように、これから実施でございますけれども、その公募事業3つのうちの一つの地域カルテを深読みする、この研修会は既に終わっておりますので、その報告を1面に載せました。あと詳しいことはそこに書いてあるとおりですので、省略いたします。

次の部会ですが、12月4日、校正作業をいたします。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。プロジェクトチーム1からご報告がございました。何か皆さん方、お聞きしたいことがありましたら、お願いいたします。

それではないようでございます。続きまして、プロジェクトチーム2、お願いいたします。

(永吉委員)

それではプロジェクトチーム2の会議概要について説明いたします。所管分野は西区アートフェスティバルの企画・実施に関する事項となります。開催日時、出席者に関しては記載のとおりです。まず1項目目、第6回アートフェスティバルアンケート結果について事務局より説明がありました。委員から出た主な意見は下記のとおりです。途中入場した方が、今どの曲を演奏しているか分からないので、スライドなどで演奏中の曲名や次の出演団体などを表示したらどうか。アンケートを書くスペースが少なかった。途中入場の誘導をもう少しスムーズにできたらよかった。いろいろなジャンルの演出があるため、どうしても私語や雑音が多くなってしまいうので、私語をやめるアナウンスをしたほうがよかった。次の出演準備のつなぎとして、司会と一緒に委員がナビゲーターとして加わり、出演者への質問などを行ったが、今後は観客にもインタビューをするなどの形を取ってもよかったのではないかという話をしておりました。身近で音楽、芸能を楽しむことができ、大変よかったと、多くの人から満足をいただけた結果をアンケートでいただきましたので、非常によかったと思っております。

31年度の自治協議会提案事業についても検討いたしました。来年度も西区アートフェスティバルの開催を提案することとしました。開催内容については、事務局より以下のとおり説明がありました。区で実施している音楽関連事業の「音届（おとどけ；新潟大学連携事業）」や、「西区役所ミニコンサート」の事業を一つにし、連携実施できないか、検討させていただきたいという提案がありました。その事案については、決議をその場ですることはなく、今後大学など、関係団体と協議し、検討させていただきたいということで、会

議は終了させていただきました。

次の開催日程に関しては以下のとおりです。報告終わります。

(岩協会長)

ありがとうございました。毎年、毎年盛り上がっております。西区の宝ということでございます。ただいまのご報告について、何かご質問等がございますでしょうか。今まではプロジェクトチームで企画実施をやっていたのですが、これからは西区と一体になって、もっともっと盛り上げていこうという趣旨でございます。よろしいでしょうか。なければ、委員推薦会議の報告を、座長に就任していただきました浅妻委員からお願いいたします。

(浅妻委員)

それでは西区自治協議会委員推薦会議の会議概要を説明させていただきます。所管分野は記載のとおりです。それから開催日時、会場、出席者についても記載のとおりですので、よろしく申し上げます。

主な議事として1から4まで挙がっておりますが、1、2についても記載のとおりに進めましたので、ご覧になっていただきたいと思えます。重要な点、3の次期委員改選に係る検討についてということで、資料に基づいて事務局から説明があり、それについて審議いたしました。委員の全体数と構成団体の検討等は、また次回以降に議論を進めることとしました。団体選出委員の任期の再任回数はいろいろ言われておりますが、さらに女性委員の積極的な登用や「新潟市附属機関等に関する指針」における在任期間にも配慮しながら、各団体の裁量で柔軟に決めてもらうという、基本的な考えにいたしました。

それから公募委員の選出については、人数は次回会議で決定することとし、募集方法は前期と同様にすることにいたしました。

その他、次回推薦会議の開催日時は記載のとおりです。なお、今後については次ページにあるスケジュールのとおり進める予定ですので、お目通しいただきたいと思えます。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。来年、4月1日から新しい委員が就任すると。その前に委員推薦会議が運営指針に定められておりますということで、会議が発足したという報告でございます。皆さま方、ご意見または分からない所がございましたら、承ります。ありませんでしょうか。坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

公募委員の坂井です。私もこの委員推薦会議の委員にならせていただきまして、一緒に協議に参加しました。2つのことを申し上げたいのですが、一つはコミ協の代表委員の扱いのことについてです。「新潟市附属機関等に関する指針」では、委員の任期は原則6年と

すると書いてあって、その例外として、委員会の中身に深く関わる委員についてはその限りでないというのがあって、私は例えば福祉の問題について審議する委員会であれば福祉に関わる団体、環境の問題を審議するうえで環境に関わる団体はそういう扱いをするという意味であって、自治協とかコミ協の関係にこれを当てはめるのは、ちょっと私は違うのではないかという意見を申し上げました。それは取り上げられませんでした。

もう一つは新潟、西区の自治協で言いますと、今3期やっているコミ協の団体が3人いらっしゃるのです。そのうち2人が推薦会議に入っておられます。私は6年やって、ぜひ新しい人を出して、どれだけの区の運営に、新潟の西区の区民に関わるか、知恵を出して成長していくかということが大事なことでありますので、私はぜひ新しい人をどんどん出して、常に交代して、自治協は守っていく人が多勢になるというふうにしたほうが、自治協自身も西区の団体の運営にもいいので、ぜひそのように、6年就任された方は新しく出すような方向で検討願えればと思っています。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの坂井委員のご意見でございます。これは新潟市の8区の会長会議でも議論をいたした結果、こういう方向性でいくということでございます。多様な意見があるのはご承知はしております。これも検討課題といたしますか、皆さん方一人一人が問題意識を持ってやるということが一番望ましいのではないかなと思っています。何か他にご意見、ご質問等がございませんでしょうか。

それではありがとうございました。以上で部会長等の報告は終了いたします。

## <2 議事(2)平成31年度自治協議会提案事業について>

(岩協会長)

続きまして議事(2)平成31年度自治協議会提案事業についてでございます。資料2をご覧ください。今ほど各部会から説明、ご提案をいただいた事業の一覧でございます。運営会議で全体の調整、確認をさせていただきましたが、結果として各部会から提出いただいた事業、全て来年度実施すべきものとして提案させていただきたいと思っております。各事業の内容については、これまでの部会からの報告にありましたので、詳細は省略しますが、ご覧の2事業でございます。

整理番号1、地域課題解決に向けた事業募集でございます。募集するテーマは4事業で、概算事業費については、先ほど各部会から報告がありました1事業上限50万円の4事業で、合計200万円でございます。

整理番号2、西区アートフェスティバルですが、概算事業費については、今年度と同額の180万円でございます。自治協議会提案事業の合計額は380万円となります。この自治協議会提案事業の内容については、特色ある区づくり事業の一部でもあり、必須意見聴取事項となっていますので、本日はこの案でよいか、皆さま方にお諮りし、承認をいただければ、市への回答とすることといたします。では原案のとおり決定したいと思っておりますが、

よろしいでしょうか。

<異議なしの声>

もう皆さま、事前に配布してある資料の提案事業はもうすでにお読みになっていると思いますので、ではご意見なしと、こういうことで進めていきたいと思います。ありがとうございました。

<2 議事(3)第2回 降雪時の取り組み(除雪)について>

(岩協会長)

それでは2番の議事(3)第2回降雪時の取り組み(除雪)について、でございます。今後の除雪体制について、土木総務課から説明をお願いいたします。よろしく申し上げます。

(土木総務課長)

いつも大変お世話になっております。私、土木総務課長の武石と申します。よろしくお願ひいたします。本日は西区自治協議会の貴重なお時間をいただきまして、大変ありがとうございます。これから市の道路除雪に関する取り組みやパンフレットについて説明させていただきます。よろしくお願ひいたします。

初めに資料3-1になっておりますA3のこちらの資料「平成29年度豪雪等を踏まえた新潟市における今後の除雪体制について」をご覧ください。資料左上側の、平成29年度の豪雪の状況についてご覧ください。皆さまご承知のとおり、平成29年度の冬、新潟市内は大変な豪雪に見舞われました。市内8区の平均累計降雪量が例年の約2.6倍の3メートル13センチメートルまで記録しております。普段雪の少ない西区でも85センチと、市内で非常に多い積雪量になった。異常な降雪量であったということで認識しているところでございます。

次に市民生活への影響としましては、市内の除雪協力事業者から、昼夜を問わない懸命な除排雪作業を行っていただき、市では冬期道路交通の確保に努めておったところですが、幹線道路の渋滞、生活道路の排雪作業の遅れ、主要なバス路線の運休や、タイヤの乱れ、貨物運送の遅れなど、市民生活に大きな影響を与えたところでございます。

こうした29年度の降雪も踏まえ、平成30年度から本格的な除雪体制の見直しに取り組むことといたしました。資料左下側になりますが、道路除雪の主な問題についてでございます。こちらは平成29年度の降雪だけではなく、それ以前の潜在的な問題についても洗い出しを行いました。その際、簡潔にいろいろな機関の方から課題、ご意見をいただきまして、道路除雪に関する11項目の問題点を抽出したところでございます。

これに対する除雪体制検討の視点といたしまして、右側になりますが、1、2、3、4ということで、除雪の効率化・適正化、除雪協力業者の支援、市民広報の充実、異常降雪時の対応強化の4つの視点に分類させていただきました。それぞれの視点に基づいた具体的な取り組みを、市の内部検討委員会を立ち上げまして、検討を行ったところでござい



す。

次に資料の右上側になります。平成30年度の主な取り組みをご覧ください。具体的な取り組みにつきましては、特に取り組み効果が大きいと思われるICTの導入、新たな雪捨て場などの確保、道路除雪PRパンフレットの作成の3つの取り組みについて、今年度から重点的に実施することとしております。1点目のICTの導入についてですが、これはGPS機能を有する専用のスマートフォン端末を除雪車に搭載していただきまして、インターネット上で稼働状況を把握することで、除雪作業の効率化を図るものでございます。このシステムの導入によりまして、これまで常に把握できませんでした除雪車の正確な位置情報や稼働状況が把握できるようになりまして、異常降雪時の区相互の応援体制の強化や、除雪協力業者と市職員の業務量の軽減、さらに正確かつ迅速な除雪費の把握などが可能になるものと考えております。また将来的にはこの蓄積した除雪車の稼働記録を活用することで、各除雪車の受け持っている延長の適正化なども検討していけるものと期待しております。

次に2点目に、新たな雪捨て場などの確保についてですが、これは雪捨て場や雪置き場を積極的に確保することで、除排雪作業の効率化を図るものでございます。昨年度の大雪では、雪捨て場の不足による排雪作業の遅れが大きな問題点として挙げられたことから、今年度は河川敷、調整池、駐車場などを活用した大規模な雪捨て場の確保を計画的に行うとともに、地域の公園や遊休地などを活用した小規模な雪置き場についても、新たに確保することとしております。

次に3点目の、道路除雪PRパンフレットの作成についてです。これまでも道路除雪のPRのため、毎年12月上旬、来月の5日になりますが、市報において除雪特集号を組まさせていただきました。除雪出動基準や除雪作業に関するQ&Aなどを紹介してはりましたが、限られたスペースで活字だけの説明となっております。このため、マンガやイラストを活用して、分かりやすい道路除雪のPRパンフレットを作成いたしまして、道路除雪に関するご理解を高めていただきたいと思います。パンフレットの内容につきましては、後ほどご説明させていただきます。

そのほか30年度の取り組みといたしましては、排雪の目安の設定、オペレーターが高齢化しておりますので、若手の育成のための研修開催、そして異常降雪時の関係機関などとの除雪応援体制の強化などを行うこととしております。また来年度以降も段階的に取り組みを進めることとしておりまして、除雪車の受け持ち延長の適正化や、老朽化した除雪車の計画的な更新、正確な天気予報に基づく適切な除雪の出動、異常降雪時の企業や市民の皆さまへのご協力などについても検討してまいりたいと思っております。以上、除雪体制の見直し方針や具体的な取り組みについての説明をさせていただいたところでございます。

続きまして、道路除雪のパンフレット。こちらになります。「にいがた「ゆきみち」ガイド」について説明させていただきます。初めにパンフレットを開いていただきますと、左側に除雪作業の種類について記載させていただいております。ここでは道路の雪を両側にかき分ける新雪除雪を基本としていることや、新雪除雪終了後に必要に応じて行う作業と

して、でこぼこを削る路面整正、道路の幅を広げる拡幅除雪、雪山を運び出す排雪について説明しております。

また中ほどに生活道路の除雪は「1車線確保」が原則であることから、車は譲り合って走りましょうというお願いを記載しております。

次に右側を見ていただきますと、除雪作業へのご協力をお願いということで、家の前に残った雪の処理のお願い、道路に雪を捨てないでというお願い、歩道除雪のボランティア団体の募集のお知らせなどについて記載させていただいております。

次にこの左側をさらにめくっていただきますと、市民の皆さまから多く寄せられる除雪・排雪の疑問にお答えするコーナーでございます。まずQ1といたしまして、「どうして家の前に雪を置いていくの？」という疑問へのお答えです。市が行う除雪は、道路の両脇に雪を寄せるかき分け除雪であるということ。このかき分け除雪を行う理由といたしましては、限られた時間で市内4,900キロという長い距離の除雪を行う方法であることをマンガで示しております。また一番下に赤字で書いてありますが、消防車や救急車など、緊急車両の通行のためには、まずは速やかな除雪が必要であるということを知っていただくことを記載しております。

次にQ2では「雪が降ったのに除雪されていないことがあるのはなぜ？」という疑問へのお答えです。明け方に雪が降り始めた場合や、夜間の除雪終了後にも雪が降り続いた場合などにつきましては、朝までに除雪が終わらないこともあるということも、解説としていただいております。

次にこの右側をめくっていただきますと、除雪車がスムーズに作業ができるように、路上駐車禁止、乗り入れ板の撤去、樹木などの処理、除雪車に近づくのは危険です、などについてをお願いを記載しております。そのさらに右側につきましては、不要不急の外出の抑制、公共交通機関の利用、脇道には入らないで、外出時の服装や車を運転する際の準備など、雪への備えや、注意点について解説してございます。

いったんこのパンフレットを全て閉じていただきまして、一番裏の所になります。ピンク色で囲んである部分になりますが、こちらに冬のお役立ち情報ということで記載してございます。降雪量の予報やJRやバスなどの公共交通機関の運行状況、あと国土交通省の管理する道路の除雪情報について記載をしております。それとちょっと準備中にはなりますが、市が管理する道路の除雪状況についても、関連するホームページを記載しております。なお、この市の管理する道路除雪の状況につきましては、現在システムをちょっと調整しております。しばらく準備中となりますが、開始の際につきましては、市報などでご案内させていただきたいと考えております。現在1月ごろから公開できればということで準備を進めているところでございます。以上でいがた「ゆきみち」ガイドの説明を終わらせていただきます。なお、このパンフレットにつきましては、来月上旬から中旬にかけて、各自治会長から、大変お手間をおかけするところですが、各ご家庭へ配布をお願いさせていただきたいと思っております。以上で土木総務課の説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまのご説明について、ご意見、ご質問等がございましたでしょうか。三富委員、お願いします。

(三富委員)

公募委員の三富でございます。パンフレットの中に排雪を行う目安がありません。これは、目安というのは何センチという意味ですか。今県道は10センチになると歩道は除雪していますよね。基準がありますよね。これは具体的な取り組みの中に排雪目安の設定と書いてありますけど、これから設定するという意味ですか。

(土木総務課)

ちょっと説明させていただきますと、除雪に出るのは10センチで出ております。それは新潟県とか他の自治体も大体10センチで出ております。排雪というのは、雪の山になったときに、その山を崩してトラックなどに積んで運び出すものが排雪になります。ただこの排雪については、やはりいろんな状況、例えば交差点などで見通しが悪くなった所があれば、そういった所はやはり一回トラックで運び出すとか、この車の通行ができなくなった昨年みたいに非常にひどくなったときに、雪をトラックに積んで出すということが必要になってくる場合があります。このときの目安というか、考え方というのが、大変申し訳ないのですが、市としては考え方がちょっとないということだったので、今それについて内部で調整を進めさせていただいているところでございます。よろしいでしょうか。

(三富委員)

それは分かりました。それともう一つ、除雪を行う場合に、市の方、直接職員がやるのではなくて、業者がやりますよね。これは通学路とか歩道とか、そういうことに対しての、町内または自治会等と協議しながらということではできないのでしょうか。というのは、子どもの通学路というのは全然考えないで除雪しているような気がするのです。教育委員会などとも一緒に除雪体制というのはどういうふうにするかという、基本的なことを話し合う場が必要なのではないかと思うのですが、いかがでしょう。

(土木総務課)

各地区のいろいろな条件、特に通学路。われわれもよくそういう話をいただきますので、そういう場を設けるところについては、ちょっとまた区の建設課を含めてまた相談をさせていただければと思います。

(古俣建設課長)

区役所の建設課長の古俣です。いつもお世話になっております。今年度西区では、例年

7月、8月ぐらいに除雪路線の新規要望だとか、そういったことで町内会へご案内をさせていただいております。その中で一つは例えば公園等が仮置き場で使えないかだとか、そういったご案内と、もう一つが担当する業者さんとの打ち合わせをご希望するかどうかというご案内を含めて、今回そういった新規路線の要望等の案内をさせていただきました。結果としてはあまり数は多くなかったように聞いておりますけれども、そういったことを活用しながら、今みたいな地域、町内会ごとの条件、通学路関係も含めて、こういったことでやろうかとか、そういったお話し合いができればと考えまして、一応そういった取り組みを始めたところでございます。ご理解をいただきたいと思っております。

(岩協会長)

ありがとうございました。建設課長、西区の除雪体制の研修会があるんですね。

(古俣建設課長)

今週の月曜日から、西区では例年やっているのですが、西区を4ブロックに分けて、自治会長さんに新潟市の基本的な除雪の考え方、それからいろいろ除雪制度を自治会除雪も相当お願いしておりますので、そういった制度を含めて説明会を開催させていただいております。例年もう一週間ぐらい早いのですが、大変申し訳ありません。今年度は今週の月曜から、明日までです。明日が黒埼地区で最後でございますけれども、一応4日間で回らせていただいております。引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。以上でございます。

(岩協会長)

他に何かご質問等が。佐野委員お願いいたします。

(佐野委員)

公募委員の佐野でございます。A3のリーフレットの右側について質問させていただきたいと思っております。このICTの導入でございますが、これは大変新たな試みで素晴らしいことだと思います。ですが、導入するのが目的ではなく、うまく稼働させるということが目的だと思うのです。その中で、この概要の中で効率化を図るとありますが、具体的にどのように効率化をすることを想定されているのかということと、あと導入による効果、稼働状況の把握とありますが、把握した後どのようなことをされるのか。具体的に想定されることを聞きたいと思っております。それとこのシステム1つではやはり、良いシステムだと思うのですが、もし稼働できなかった場合、どのような補助システムを考えていらっしゃるのか。そちらもございましたら、教えていただきたいと思っております。以上です。

(土木総務課)

まず具体的な効果につきましては、今おっしゃられたとおり、位置情報が分かるように

なりますし、各登録業者のやられている路線というのが決まっております。その辺でやはり長くかかっている業者とか、短い業者とか、いろんな所があると思いますので、そういったところでまた業者の方と協議しながら、例えば朝までに終わっていないですねとか、ある所は非常に余裕がありますねとか、例えば分配を変えるとか、そういったことを検討していきたいということで、時間的な部分が効率化されていくのかなという部分があります。

あと今まで正直なところ、紙ベースで協力業者と除雪費のやりとりをしていたのですが、システム化によって、それが非常に簡素化されます。全てデータがシステム上で出てくるということなので、これは内部的なのですが業者の手間と市の手間が非常にそういった部分で、本当に内部的な話なのですが、そこの効率化がまず図れるというものになります。

それとこのシステムが使えなかった場合ということなんでしょうか。

(佐野委員)

GPSをお使いになるということですので、やはり機械のことですね。そうしますと、万が一使えなくなった場合は、このシステムが稼働しなくなるわけですね。その場合の補助の体制というのは、どのようにお考えいただくのかお聞きしたいと思いました。

(土木総務課)

動かなくなった場合、基本的には各除雪機に、いわゆる機械の稼働状況を記録するものが入っておりますので、そういったものを活用したり、あとはGPS自体は機能していて、本体の電源が入っていればその除雪車自体がどう動いているかというのは、われわれのほうでもわかりますので、電源が入っていれば、われわれとしては把握はできるということと考えております。ただおっしゃられたように、もし電源も入っていないと、そういうことがあった場合には、除雪業者の持っている資料を確認しながら、今までどおり紙ベースで確認をするような対応をするしかないかなと思っています。よろしいでしょうか。

(岩協会長)

他に何か。時間もないので簡潔にお願いします。

(坂井委員)

このパンフレットに書いてある積雪10センチが目安なのだけれども、幹線は5センチだということなんです。西区で10センチだったのが、今度5センチでやるよというのが幹線であると伺ったことがあるので、ちょっと分かったら教えていただければと思います。

それと除雪は交通の邪魔にならないように夜やるのだけれども、今年度の有明線なんかは3日間もバスが通らなかったわけですから、昼間もどンドン除雪したほうがよかったんじゃないかなと思うので、それを聞きたいです。

(古俣建設課長)

建設課長の古俣でございます。5センチの積雪で出動と書いてありますけれども、おおむね幹線道路と申しますか、主要なバス路線と考えていただいて結構です。昨年度大雪の前なのですけれども、路線一部に限られておりました。一つは国道から県道に落ちたような路線。例えば黒埼インター線だとか、あるいは西大通り、これも昔国道116号だった所、その一部だとか、それからあとは公共交通の関係で、BRTの関連するそういった道路が5センチになったら、市からの指示でなくて、業者のほうで5センチになったら出るという、そういう基準の路線がございました。

そういった中で、昨年度の1月の大雪で、非常にバスの道路状況が良くないというようなことで、結果的に有明線をああいった形で止めてしまったわけですが、やはり公共交通をまず何とかしなければいけないということで、あの雪以降、主要なバス路線、有明線はもちろん西大通りだとか大堀、それと縦の路線で燕線だとか小針線の一部。それからもう一つは私がいつも言うのは、坂井の交差点から内野営業所までの新潟寺泊線。内野営業所からバスが100本ぐらい出入りする所でございます。あそこが非常に1週間ぐらいガチガチの状態、危険な状態が続いたということで、ああいった所が5センチになったら出る路線ということで、昨年度の大雪以来そういう形でやらせていただいております。

一般的に10センチでございますが、私どもは大体夜雪が降るという時に待機ということになるのですけれども、24時間やっている所で消防署が常時活動というか、そういった所から連絡をもらいながら、10センチになる前、7センチとか8センチぐらいで情報をもらった中で準備をしていくような状況でございます。そういったことで判断しているということをご理解お願いいたします。

(岩協会長)

何か説明したいことありますか。

(土木総務課)

雪かきの通行止めの件でお願いします。

そちらについても非常にそういうご理解をいただけると、大変われわれも助かると思っております。それにつきまして、また交通管理者、バスの管理者とか地域の方とまたご相談させていただいて、先ほどちょっと話した皆さんからの出控えとかそういったことも含めて、ちょっと今後検討していきたいと思っております。今年度その辺の結論は出せないのですが、検討していきたいと思っております。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。今皆さん方からいろんなご意見聞きました。建設課も4ブロックに分けて、自治会長を集めて、市の除雪制度などについて、今説明に回っているということでございます。今年は新たにICTの導入ということで、予算要求がされておしま

す。一つ一つやはり市のほうも対応に向けて努力していると、私は感じております。ということで、西区は非常に今年降雪が多かったということで、地域からいろいろな課題が出ておりますので、その辺のことは建設課のほうでも重々把握しておりますので、努力して一つ一つ解決に向けてやってもらいたいと思っております。どうもありがとうございました。

(土木総務課)

どうもありがとうございました。

(岩協会長)

続きまして、②の降雪時の支え合いの取り組みについてでございます。前回に引き続き、区自治協議会のさらなる活性化のために、区民等と市の協働の要として、地域課題について地域で何ができるかを本会の場でも話し合いを行うこととしました。この話し合いの場は市、区への要望の場でないこと、行政と地域の役割分担の中で、地域、区民として、できることは何かを議論する場と考えております。

今年の1月並みの豪雪では無く、例年並みの降雪時において、地域での取り組みの輪を広げるための課題として、10月から12月の本会、計3回に渡り、話し合いたいと思っております。

本日、第2回目は、例年並みの降雪時において、降雪時に支え合いの取り組みの輪を地域で広げるためには、どのような課題があるか、グループワークで話し合いを行います。次回、12月の本会では今回の話し合いで洗い出した課題についての解決策のアイデアをまとめるグループワークを行う予定でございます。それでは、これからの進行を加野委員にお願いいたします。

(加野委員)

お世話になっております。西区支え合いのしくみづくり推進員の加野です。それでは前回10月の本会では、現状の共有ということで、新中浜町内会 倉林正喜会長から「おたすけ隊」の取り組みについてお話をいただきました。また、1号委員の皆さまと事前に事例を提出いただいた委員の皆さまから、地域での取り組み状況ですとか課題についてもご報告をいただきました。先回の課題というか、共有については資料3-2に添付してございますので、後ほどご覧ください。

前回の本会では、支え合いの取り組み・共助が進んでいる地域がある一方で、「助け合いの団体への除雪の相談が殺到し、対応できてない」「支え手のマンパワーが足りない」「補助制度のことを知らない」「自治会など地域の取り組みを知らない」「困っている人がなかなかSOSを出せない」などの現状や課題があることが分かりました。

今日は、地域でのこういった除雪の取り組みの輪を広げるための課題についてをテーマに降雪時に支え合いの取り組みの輪を地域で広げるためにはどうしたらいいのか、どのよ

うな課題があるかということ、限られた時間にはなりますが、グループで話し合いたいと思います。各グループの発表者を事務局から事前に決めていただきました。グループの中で一番年齢の若い方と聞いております。発表者はグループの皆さんの話し合いについて、最後にまとめの発表をお願いしたいと思います。

まずは、皆さまの机の上に付箋があるかと思えます。それぞれ皆さんお一人何枚かずつお持ちいただきまして、各自で机の上の付箋に一つ、課題をどんどん書いてください。こうした地域で雪を除雪することとか、地域で除雪の取り組みを進めるために、こういうことが課題だよなど考えることを書いていただければと思います。ちなみに付箋には1つの課題を書いてください。2つ思いついたら、付箋2枚使ってください。なので、もう思いつく限り、ちょっとしたことでも構いませんので、一付箋一課題でどんどん書いていただければと思います。その作業をすみませんが、5分間していただきたいと思えますので、よろしくをお願いします。それでは始めてください。どうぞ。

#### <課題>

(加野委員)

思いつかない方もいらっしゃるかもしれませんが、去年の大雪の状態を思い出していただいて、地域で高齢者の方とか、雪かきできない方に地域で対応した地域、またお互い自分の所は自分でやった地域、それぞれあるかと思えます。そんな中でも自分の所は自分でやった地域はあると思えますけど、その上で本当にじゃあ自分でできなかった人はいなかったのかなとか、実際支え合いが行われた地域でも、役員ばかりに集中したとか、困っていてもどこに相談したらいいか分からずにそのままになっちゃったとか、いろいろあるかと思えます。その中で去年の様子をちょっと思い浮かべてみて、課題を書いていただければと思います。特にごみステーションの雪かきが全然されなかったとか、いろいろあるかと思えますので、そういった地域での支え合いで何とかしなきゃいけないとこだったよな、でもできなかったなみたいな、そういった所も含めてお書きいただければなと思えます。あと2分ほどをお願いします。

#### <課題>

(加野委員)

それでは大体皆さん書けたかなと思えますので、それではグループで共有をしていただきたいなと思えます。自分が書いたもの、もう中央に出している方は、ちょっと自分が書いたものを自分の手元に戻していただきまして、私はこんなのを書いたよと言って、グループの中で共有していただければと思います。その上で、皆さん全員が共有できたら、その中でまたグループでいろいろ話し合いを進めていただければと思います。まず共有をお願いします。



<グループディスカッション>

(加野委員)

あと1分で共有の時間終わりになります。ほぼほぼ全員回りましたでしょうか。終わっていない所は急いでください。

<グループディスカッション>

(加野委員)

それでは共有の時間は以上で終わりになります。これから5分後、16時37分になりましたら各グループで発表していただきたいと思います。なので、発表する方が発表しやすいように、特に支え合いの輪を広げるうえで、こういうのが課題だよねという所を中心に発表いただきたいと思いますので、グループの中で意見のまとめをする時間にさせていただきます。16時37分までです。お願いします。

<グループディスカッション>

(加野委員)

それではグループトークまとめ、終わりましたでしょうか。ではこれより発表に移りたいと思います。発表者の方々はお心構えはよろしいでしょうか。一番最初に終わったグループからしたいと思います。

(郷委員)

坂井輪1グループなのかな。私たちの中では、やはり課題というのは、いつも高齢者、障がい者、弱い人たちへの支援。それをどうやってやっていくかということが課題なのではないかなというお話が出てきました。個人的なつながりがあるところには、今回の大雪に関しても、助け合いの素敵なお話がいっぱい出てきたのですが、そういった個人的なつながりができない人たちがいる所に、やはり自治会とか組織として支援の手が行くような仕組みを作っていくということが大切なのではないかなと話がありました。

あとその他、組織的なこととか、これからの先導という形だと思うのですが、細かい具体的などころでは、歩道の除雪、子どもたちが歩く通学路の除雪というのは、本当に見ていて子どもたちが危ない。結局道路の除雪が雪だまりになって、交差点の手前に積んであったり、歩道に積んでいると、子どもはの上を歩かなくちゃ駄目なので、そういった所を子どもたちが安全に歩けるような場所を早く確保してあげたいとか、あとは雪の置き場として公園というふうに言っていましたが、目の前に学校があると、学校のグラウンドとかを使われたらいいのではないかなと。先ほど、前のお話にもあったように、除雪をスポ

一ツ的に考えれば、そこに活動する高学年とか中学生が、体育の時間に少し何とか整理するとか、そんな工夫もあるといいのではないかと話していました。

ただ自治会自体が高齢者が少なく、若い人が多い自治会では、何とか地域のつながりを作りたい、求めていきたいという人たちも増えてきているので、そういった地域のつながりができるようなきっかけの場とか、きっかけづくりということのをこれからもどんどん作っていくということが大切だなという話し合いを行っていました。以上です。

(加野委員)

ありがとうございました。それではこちらのグループ、お願いします。

(中原委員)

うちグループですが、昔からの農村地域の方が多くて、今年の雪に関しても、そこそこ困らなかったという、かえって弥彦線の除雪が遅れて、村の中の道はきれいなんだけど、弥彦線に出た途端に走れないという状況だったので、結構昔から近所づきあい、向こう3軒両隣仲良くして、困ったときは助け合いが、とりあえず田舎のほうなのでまだまだ残っているので、とりあえずは良かったのだけれども、これから若い人に代わってきて、そういった付き合いをどうしたら継続していけるのかという、若い人が参加できるような催し物であるとかそういったもので、日ごろから近所づきあいをしていかなければならないのかなという意見と、あとどうしても高齢者の方ばかりのお宅が、たぶんあって、その人は困っていたのだらうけれども、そういった情報が入ってこないというのがありまして、そうした情報を持っている方は、民生委員の方だと思うのですが、そういった方を協力してくれるメンバーに入ってもらって、あそこの家、ちょっとたぶん困っているんじゃないかなという情報を出していただければという意見が出ました。

あとはやっぱり先ほど郷委員がおっしゃったように通学路の問題です。どうしても除雪をしてある所はきれいなんだけど、除雪をしてない所が、除雪がしてないと車道を歩くようになるというので、車道を歩いていると大型とか路線バスとかも来ますので、そういったところを歩道の除雪をどうするのかという問題ですね。業者に頼むのか、それとも通りの方をお願いするのか、その辺がちょっと問題ですけど、田舎のほうなので、わりと私たちのグループは、そんなに困った感じはなかったという意見がありましたけれどもやっぱりこれから先は高齢者の方の除雪と、あと若い方とどうやってつながり、その協力体制を維持し続けるかというのが、これからの課題だというふうにまとまりました。以上です。

(近藤委員)

お疲れさまです。こちらの班で出たのが、やはり課題としては道路の除雪というところで、先ほど2つのグループから出ましたが、子どもたちが通学する道路の狭い所の歩道の確保という問題が出てきていますし、あとは踏切も危険になっている所がありますの

で、踏切の辺りをどう除雪していくかというところと、あと坂道が登れないという問題も出ているということでしたので、その道路の除雪ということがやっぱり課題というところ  
です。あとはやはり高齢化ということでお年寄りの方の除雪であったり、あと一人暮らし  
の方への配慮も必要ではないかという課題も出てきました。あとは空き家が多くなって  
いるということで、空き家の前の除雪というところも課題ということで挙がってきています。  
あとはボランティアの担い手がやっぱりいないといったところで、ご近所と協力し合っ  
ていかなければならないのではないか、ということでした。以上です。

(加野委員)

ありがとうございました。それでは最後のグループになります。

(高橋伸絵委員)

もう全て皆さんが答えてくれました。同じです。通学路、高齢者、排雪、そういうこと  
が課題になっています。あとマンパワーの創出という面で、みんな切実な地域状況を皆さ  
ん一人一人住民に分かっていただいて協力してほしい。それをどう伝えるかということが  
課題だと思います。そしてまた、ボランティアだけに頼るのではなく、防火、防災、消火  
栓、それから空き家の清掃などで、区の力もお願いしたいということが課題として挙がり  
ました。以上です。

(加野委員)

ありがとうございました。今日は皆さんから課題についてお話しいただきましたが、話  
し合いの中で、でもそうしたらこうしたらいいんじゃないかという、そういった解決策も  
ちょっと話し合われたように思います。次回、今回話し合った課題の解決策のアイデアを  
話し合う予定にしております。また次回のときに、今日話し合ったことを思い出してい  
たきながら、いろんなアイデアを出していただければなと思います。

地域によっては今は大丈夫。それ以上のつながりがあって大丈夫という所も、でもこれ  
から若い人へのつながりが大変だというお話がありましたが、それは例えばご近所のつな  
がりが無い所でも、今おたすけ隊がある所でも、そういう地域活動をしていらっしゃる方  
はたぶん60代、70代という方が多い中で、除雪という体力作業になると、もっと若い人  
を取り込むにはどうしたらいいのかという所も含めて、また次回お話しいただきたいな  
と思います。どうも今日はありがとうございました。それでは進行を岩脇会長にお返し  
いたします。

(岩脇会長)

ありがとうございました。ワークショップ、いろいろな地域課題、また現状把握等  
をしていただきました。

### < 3 その他 >

(岩協会長)

それでは次第の最後のその他でございます。委員の皆さま方、何か連絡事項等がございますでしょうか。なければ事務局よりご説明いたします。教育支援センターお願いします。

(植野教育支援センター所長)

西区教育支援センターの植野です。私からは本日お配りしました第2回西区教育ミーティングの開催について、説明をさせていただきます。本年度2回目となります、西区教育ミーティングでございますが、こちらの文書の1及び2に記載のとおり、来年1月の自治協議会の前、1月29日、火曜日の午後1時15分から、1時間半程度になりますが、西区役所健康センター棟3階の大会議室で開催いたします。テーマについてですが、記載にございますように、自治協議会で教育分野をご担当しています第2部会の皆さまと検討しました結果、「西区で羽ばたく子どもたちを育てるには」とし、副題としまして「地域への愛着を育む教育のあり方」になりました。

資料に記載はございませんが、ミーティング当日、区内の小中学校長から1名ずつ出席していただきまして、具体的な学校での取り組みも紹介していただこうと思っております。

次に4の参加の対象者ですが、2回目となります今回は、第2部会の委員さんを中心としまして会議のほうを開会させていただきますが、出席を希望される他の部会の皆さまも参加できますので、資料の裏面が出欠連絡票になっておりますので、ご希望な方は12月10日の月曜日までに、教育支援センターまで、ご提出くださいますようお願いいたします。簡単ではございますが、私からの説明は以上です。よろしくお願いいたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。事務局何か、お願いいたします。鍋谷委員。

(鍋谷委員)

3号委員の鍋谷です。教育ミーティングに関わりましてお願い事なのですが、今回のミーティングのテーマが、地域への愛着を育むということになっていました。この文言につきまして、区長マニフェストに29年度と30年度を私が比べて見たときに、区長マニフェストの30年度の項目の一つに地域への愛着という文言が付加されて、新しく3項目の一つに、地域の愛着を深め、健やかにいきいきとした暮らしづくりを推進します、とおっしゃったのを覚えております。今回の秋葉区での研修で、南区の代表の方が、私ども自治協が協働の要をやっていくには、区長のマニフェストをしっかりと勉強して、それに関わった活動をやっていく必要があると、私もそのように思うので、できましたら、区長がどんなことをこの地域の愛着で望まれていらっしゃるのか。そういうことをこのミーティングの前に、私は勉強させていただきたいと思っています。自治協議会全員じゃなくて2部

会主催ですので、まだ部会には諮っていませんけれども、そんな機会を作っていただけたらありがたいなという。お忙しくていらっしゃるので無理かもしれませんが、そんなことをお願い事として申し上げておきます。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございます。笠原区長、お願いします。

(笠原区長)

どうも大変光栄なお話をいただきまして、ありがとうございます。お話のとおり、私のマニフェストの30年度のお話を差し上げましたときに、この地域の愛着というのが、今年度新たに取り組んだ内容でございます。人口減少がかなり進んでいるというのはご承知のとおりでございますし、またその人口減少が進んでいる大きなところでは、若者が新潟を巣立って、みんな首都圏に行って帰ってこないということも、大きな原因の一つでございます。そういった背景等々も含めまして、まずは西区への愛着を深め、また市の発展のために、またみんなの地域のつながりの中で、西区の発展、そして人口減少を克服していきたいという視点も入れた次第でございます。

私の考えているものが全てではなく、また皆さんのご意見あるいはアイデアもいただきながら、さらに拡大していきたいと思っておりますが、今現在のそういった取り組み、あるいは皆さん方の取り組みを参考にしながら、私が今現在持っている愛着という、地域の愛着を育むというものについて、私のお話でよければ、光栄でございますので、29日の前にお話差し上げたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。ありがとうございます。

(岩協会長)

ありがとうございます。それでは区長がいつでも説明するということから、事務局のほうで時間等の調整をしてください。

(事務局)

今回の会議の開催日程について、ご連絡させていただきます。お手元の平成30年度、西区自治協議会開催予定。A4の資料をご覧ください。本日配布させていただいたものです。次回第9回自治協議会は、12月21日、金曜日、午前10時からとなります。会場は今回同様自治協議会認知度向上のため、次回は黒崎市民会館で開催させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。なお、会場に行かれる際ですが、事務局の車に若干余裕がありますので、今回同様、同乗を希望される方は、事務局までご連絡いただければと思います。またせっかくの機会でございますので、委員の皆さまからも、黒崎地域の方々に傍聴のお誘い等をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

会議の議題は第3回降雪時の取り組みについて、ほか、詳細につきましては、運営会議

と調整の上、改めて皆さまへご案内させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次にG20、新潟農業大臣会合についてですが、右上に資料4と書いてあるのをご覧ください。新潟市では来年5月11日の土曜日、12日、日曜日の両日、朱鷺メッセにおきまして、農業大臣会合の開催が決定しておりますので、そのお知らせとなります。裏面をご覧ください。会合当日を含む5月10日の金曜日から、12日、日曜日までの3日間、会場となる中央区の万代島、朱鷺メッセの周辺はテロ等への警戒から、交通規制が行われます。会合開催が近づきましたら改めてお知らせしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

次に、こちらの絵入りはがきになります。新潟市と市内の郵便局が締結した包括連携協定に基づき、西区内の郵便局が初めて西区の魅力をPRする絵入りはがきを作成いたしました。先日西区役所にも寄贈いただきましたので、寄贈いただきました分につきましては、西区に転入された方や、区主催のイベント等で配布する予定としております。本日は5枚セットのうち、1枚になりますが、委員の皆さまにお配りいたしますので、ご活用いただければと思います。

最後に事務連絡となります。11月21日の区自治協議会の委員研修にご参加いただきまして大変ありがとうございました。各自治協の取り組みについて発表がございましたが、その説明資料の提供がありましたので、委員の皆さまに配布をさせていただきました。今後の参考にしていただければと思います。その他は広報紙でございますので、後ほどご覧ください。事務局からは以上となります。

(岩協会長)

ありがとうございました。これをもちまして、平成30年度第8回西区自治協議会を閉会いたします。長時間ありがとうございました。

(終了)